

## 様式第3号

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成21年度 第1回 川西市青少年問題協議会		
事務局 (担当課)	こども部子育て室 青少年支援課 内線(3441)		
開催日時	平成21年8月28日(金) 午後1時30分～3時30分		
開催場所	市役所 4階 庁議室		
出席者	委員	大塩民生、益満良一、黒田美智、竹島均(原田敏明代理)、細見幸己、武村雅樹、井上克己、今北道彦、中村健次、深田政宏、森脇幸枝、中井成郷、若松省吾、高木佳子、澁野敏彦、戸松嘉宏、宮路尊士、田村嘉規、佐伯直樹	
	事務局	こども部長 後藤哲雄 子育て室長 藪野俊介 青少年支援課 課長 小倉光 主査 小西裕之 主任 畑山貴英 教育振興部 教育支援室 室長 松岡寛一 青少年センター所長 上中敏昭 社会教育室 室長 谷清 指導主事 長船幸夫	
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0人
<small>傍聴不可・一部不可の場合は、その理由</small>			
会議次第	1. 開会 2. 委員の委嘱について 3. 会長あいさつ 4. 自己紹介 5. 協議事項 (1) 副会長の選出について (2) 平成21年度川西市青少年健全育成要綱(案)について (3) 「青少年の表彰」について (4) 平成22年 川西市PTCA青少年フォーラムについて (5) 「青少年の健全な育成に全市を挙げて取り組む日」の制定(案)について 6. その他 各団体からの活動報告・事務連絡 7. 閉会		
会議結果	5. 協議事項 (1) 副会長に益満教育長を選出 (2) 平成21年度川西市青少年健全育成要綱(案)で承認 (3) 「青少年の表彰」要綱・留意事項に沿って進める (4) PTAと共催開催で了承 内容についても承認 共催になる前後での予算・効果比較については次回協議会 (5) 「青少年の健全な育成に全市を挙げて取り組む日」の制定(案)で承認		

## 審 議 経 過

### 1. 開会（13：30）

欠席者・代理出席の確認

欠席：川西保護区 保護司会 古谷委員

兵庫県立高等学校校長会 岩木委員

代理：川西警察署長 原田委員に代わり、生活安全課長の竹島均氏

### 2. 委員の委嘱について

任期：平成21年7月1日～平成23年6月30日まで

20委員全員を委嘱・任命

### 3. 会長あいさつ（大塩民生 市長）

### 4. 自己紹介

各委員より所属・名前など自己紹介

事務局の紹介

教育委員会からの出席者の紹介

### 5. 協議事項

#### 協議事項（1）副会長の選出について

「川西市青少年問題協議会規則」第2条第3項の規定により、副会長は委員の互選で委員より選出する旨を説明。

委員より事務局案が求められたため、

青少年の健全育成施策について教育委員会との連携を勘案し、引き続き「益満教育長」を副会長とする事務局案を提案。

益満委員、了承。

その他の委員も承認。

**益満委員を副会長に選出**

#### 協議事項（2）平成21年度川西市青少年健全育成要綱（案）について

事務局より平成21年度川西市青少年健全育成要綱（案）について、資料に基づき協議事項（2）のとおり説明。

事務局

各団体におかれましては、この推進項目に沿って活動を展開していただき、子どもたちが健やかに育ちますよう取り組みをよろしくお願いいたします。

会長	平成20年度より若干修正があったようですが、この案につきまして何か、ご意見・ご質問はありませんか。
委員	<p>2ページのところの、20年度でも同じ文言があるんですけども、1の趣旨のところの2行目からなんです、「学校に行かず、就職もしていないニートと呼ばれる若者の増加や」という文言があるんですけど、この間、このニートという言葉については、かなりいろんな国民から解釈が違うということで、一時はまるでブームのように使われたんですけど、この頃あまり使われないようになった。</p> <p>それから「学校に行かず」というところも、本当に個人が行かないのか、行けないのかという捉え方。</p> <p>また、先ほど5ページのところで、青少年の職につきたくてもつけないといういわゆる社会的な状況も含めて、就職していない、それが本当に自らができないものなのか、できるものなのかということも、昨年度の要綱を作る時とではうんと変わってきている。</p> <p>今日発表された失業率でも約5・6%近いような状況になっているので、2行目、3行目の部分のニートという言葉の使い方というのは少し考えていただいた方がいいのではと思います。できればニートという言葉在省いて、文面を作っていた方がいいと思うが、これを読んでいくおとなではなく、これを読む自らがその立場に立っていく青少年たちには、あまり気持ちの上でも少しどうだろうかということがありますので、もう少し具体的な文言として、具体的なことが書かれている訳ですから、ニートという言葉に凝縮されるのではなくて、何か誤解を招く部分についてはこの21年度については少し差し控えていくとか、違う言葉を使うという方がいいのかなというように思いますけれども、意見で結構ですが。</p>
会長	委員から2ページの「ニート」と「学校に行かず」という文言について意見が出たところですが、今の意見に対しまして委員の皆さん方から意見はございませんでしょうか。
委員	(先ほどの意見は)事務局の方に委ねておきますので。
会長	<p>他にございませんでしょうか。</p> <p>他に意見もないようですので、それではそういうことにも注意しながら原案につきまして承認させてもらってもよろしいでしょうか。</p> <p>言葉をどうさせていただきますでしょうか。あとで言葉をさわると原案になりませんが。委員からの意見もあります。原案通りということでもよろしいでしょうか。</p>

	<p style="text-align: center;"><b>委員の承認</b></p> <p>会長 案につきましては、原案通り進めさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。要綱ということでございますので、それぞれの団体におかれまして取り組みを進めていただきますようお願いいたします。</p> <p><b>協議事項（３）「青少年の表彰」について</b>  事務局より別紙資料協議事項（３）に沿って「青少年の表彰」の要綱及び留意事項について説明。  被表彰者の推薦を依頼。  選考委員については、青少年フォーラムの実行委員と兼ねるので、後の協議で決定する旨を説明。</p> <p style="text-align: center;">質問・意見は出ずに<b>委員の承認</b></p>
	<p>会長 このような要綱にもとづいて表彰を進めていきたいと思っております。今年度におきましても、各地域で活動をしている様々な青少年の活躍を期待しております。</p> <p><b>協議事項（４）「平成２２年川西市PTCA青少年フォーラムの開催」について</b>  事務局より別紙協議事項（４）のとおり説明。  今年度も川西市PTA連合会と共催で行う旨を提案。  内容について委員（PTA連合会長）より補足説明。</p>
	<p>委員 例年でございますと講演会という形で先生を呼んで、１時間から１時間半程度講演をいただくという形で進めていました。</p> <p>今年に関しましては、まだ案の状態ではありますが、今度１０月の１７日１８日に市民ミュージカルが開催されますが、その市民ミュージカルをできればそのダイジェスト版みたいな形で、縮小版でこのPTCA青少年フォーラムに持って来れないかということ、中心になってやっておられます先生に申し上げたところ、「それは、子ども喜ぶわ！」というふうにおっしゃっていただきました。</p> <p>「子どもが喜ぶわ。」と先生はそこを基本にやっておられるんだと思、ではそれをうまく進められないかと数回打ち合わせをしたんですね。当然あまり予算がございませんから、プロの俳優は呼ばない。それは誰かが代わってやらなければならない。当然ミュージカルですからオーケストラが本番にはおる訳ですけども、それをピアノでまかなうなど、打ち合わせをかなりして、なんとか今の形で、双方の予算を合わせますとなんとか小規模ならできるん</p>

	<p>じゃないかと話をしております。</p> <p>昨日、ミュージカルの練習で、私も実は参加させていただいているんですけど、おとなのコーラスで。その参加メンバーにも予約しておかなければと、昨日「まだまだ案の段階ですけど、できたら1月30日のPTCA 青少年フォーラムの中で再演をしたいのだけれど出ていただけないでしょうか。」と依頼しました。多くの方が参加いただけると思います。</p> <p>これは大きな意味でPTCA 活動になると思います。先生方も入っていらっしゃるし、親も子も参加していて大きな意味でPTCA 活動だと思いますので、この再演をこの場でできれば本当にいいフォーラムになるんじゃないかなと、まだ案の状態ですけども今検討しております。</p> <p>事務局より、青少年フォーラム実行委員とPTA企画運営委員が協議・検討し進めていく旨を説明。</p>
会長	10月17日、18日はよく分かりましたが、タイトルが出ていなかったように思います。
委員	「川西の金太郎」という題名です。
会長	今までと違った形ということで、PTA会長より内容についての説明があったところですが、前段につきましては従前どおりでございましたが、このような形で進めさせていただいてよろしいでしょうか。
委員	事務局にお聞きしたいんですけど、単独開催していた時の青少年フォーラム決算と今回の共催という形での予算でどのくらい違いますか。
事務局	去年の20年度の実績としまして、出演者の謝礼と表彰の記念品とか舞台のステージ操作料とか筆耕料とか駐車場シルバーさんの委託料とか、フォーラムだけで見ますと、32万円ほどかかっていると思います。
委員	ぼくが聞きたいのは、総決算額です。フォーラムに対しての経費全部入れてのお金です。
事務局	PTAの負担分も含めてということですね。教育委員会のほうでは？
教育委員会	謝金が5万円。当日お配りした冊子が10万。合計15万円です。
事務局	PTAの方から15万円。市の方で32万円ほどかかっています。

<p>会長</p>	<p>整理しておきたいと思います。これは決算はどこかで処理してるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>市の会計の方とPTAの会計の方でやっております。</p>
<p>委員</p>	<p>一つ言っておきたいのは、かなりPTAさんの方でご尽力いただいて、手弁当を出してやっていただいているように承っています。その中で、青少年フォーラムの時は青少年問題協議会の予算でやっていた、PTAの予算でやっていた、二つがジョイントすれば、当然ながらいいものができるのは当たり前前の話でございます。</p> <p>その中でPTAさんにおんぶに抱っこなのかなという考えもある中、市の助成金がいろいろな青少年関係団体で昨年から今年にかけて10%減ということになっていきますよね。その中で普段皆さんがやられている本当に地べたを這うような草の根的な子どもたちのためにやっているためのお金を削減される中で、やはりお金があるからできるというようなフォーラム、お祭りのようなやり方でもいいのかなというクエスチョンがあって、事務局から説明してほしいなと思っていました。</p> <p>お金があればできる。その中で、PTAさんがお金がかからないように削減、削減でやっていっている中で、二つがくっついてお金、例えば今まで100と100あったものがくっついて170くらいのお金を出せるんだということであれば、だれでもできる話。他の団体のお金が削られている中で、確かにいいことかもしれないがそこまでお金をつぎこんですべきものなのかというところに疑問があって、お金のことを聞きたかった。PTAさんが手弁当になっていくだろうし、手弁当でなければ他の団体のお金が削ってやっていくことになるから。</p>
<p>会長</p>	<p>先ほどの委員のご意見について整理させていただきたいのですが、22年のPTCA青少年フォーラムをすることについて、少し問題があるのではないかというご意見ですか。</p>
<p>委員</p>	<p>問題はないんです。やってほしいのです。今、PTA連合会長がおっしゃったように手弁当でやっていただいている中で、すごくありがたいことです。</p> <p>ただ、その前の段階として、我々に与えてもらえる行政からのお金というものが10%カット、また来年もカットされると聞いていますが、1日のお祭りのためにお金をつぎ込むというのがどうなのかなという、そこを皆さんのご意見を聞きたいなという。それはお金を出すのは困るなとなると、お金を反対に皆様に協賛、お手伝いする形でやっていかないといけないだろうし。ぼくらの会というのは協賛金集めてできないですからね。お金を行政からいただいている会だから。</p>

会長	<p>なかなか難しい意見ですね。こういう事業というのは大変みなさんにお世話になりながらやっているところですが、確かに委員から財源的な問題が出たところがございますが、少しご理解を賜りたいのは、確かに予算も大事なことでございますが、どうやってみんなが盛り上げていけるかということも大きな問題でございます。委員からもありましたように決してそれをやめておけという話ではないということで、手法の問題を述べられておるんだということで。ただ、じゃあどういような方法があるかということで、何かこれに代わるような方法を提案いただけるか、何かをすればまた話ができるかなと思いますが、そこはどうでしょう。何か代わるものは。</p>
委員	<p>それを見たい関係で、どれくらいの歳出が出ていたのかなということを知りたかったのです。</p> <p>例えば100と100という出し方として、200使うことはないとして、170くらいで。それを例えば、他の子どもの会の分が10%カットしたって言っている、来年また10%カットで、昨年と比べて20%カットして運営してくださいというように聞いております。100と100で170で、そこから20%カットしてできるような形の運営の仕方はないですか。</p>
会長	<p>まあ、委員の意見としては、予算的なことと申しますか、カットした部分について、短い縮小版のような形になるかもしれないが、できるだけ予算に合わせて縮小していこうというような思いでのご提案かと理解しているところでございます。</p> <p>委員からのご指摘のとおり、その辺の部分を見たい訳ではありますが、それに合わせたと申しますか、当然予算というものがある訳ですから、それに合った形になっておるといように思います。</p> <p>今、委員からのご指摘もございますので、どのような内容になっているのかその予算配分、それから昨年度と今年の予算の違い、その辺があれば整理をして委員のほうにもまたお知らせすることがあれば方法を考えていくということで。それでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>それと単独開催をやっていた時と合同開催をやっていた時のお金の流れの内容が変わったかということをご皆さん分からない状態で安易に議題が出てきた、チェックする間もなくギリギリになっているというのが今の会議の状態じゃないかなと。</p>
会長	<p>今、委員から意見もございましたけれども、他の皆さん方の意見も参考としていただきまして、事務局から提案をしまして、またPTA連合会長からも説明がございました22年のPTCA 青少年フォーラムにつきまして、こ</p>

の案に基づいてやっていこうということで、予算のことについての説明については、また、説明と言いますか前年度との違いについての意見もありますので、それはまた提示していただくということで、今回はこのような形でやっていこうということについて、意見やもっと他のことがあるんだということがございましたら、提案をいただきたいと思います。

委員 今委員がおっしゃられたことと同じになるかもしれませんが、平成20年度の決算の金額と平成21年度の予算の金額、合同前と合同後ですね、内容的に予算内で押さえられるのではないかということですね。

それでその内容も今回に関しては、今までの合同でやったという経緯というのは、動員のところでなんとかPTAさんのご協力していただいていたというのが今回の提案で、今回は、また昨年度の結果すばらしいものができたので、もう一度合同でやるということで理解させていただいてよろしいですね。

会長 今、委員からもありましたように、動員ということで意見が出ましたが、それを踏まえて今年もこういうような形でやらせてもらえたらというような提案でございましたが、他にご意見ございませんでしょうか。

委員 18年度17年度続いて、まあ昨年度も実行委員をやらせていただきました、単独で17年18年やっていた時は500人程度の参加だったということなんですが、18年度の反省でやはり青少年の表彰が青少年のすばらしい子どもたちが川西にいるんだということ表彰していく上で500人の参加者だった。そうした時にやはりもっと大勢の参加者でたたえほめて育てるという意味合いでPTCAと合同になったと理解しております。

その結果1000人規模の参加者が、立ち見が出るほどの参加者がいらっしやいまして、PTCAの中で第一部の青少年の表彰ができましたし、またそのできたというのは、それだけの参加者に周知していただいたと理解しています。

その分、青少年の意見表明という部分が若干希薄になったなというふうに僕は反省しています。その分は、PTAの役員さんと協働しまして青少年のインタビューであったり、舞台進行を青少年と合同で言わしていただいたというところでの、メリットであったり、デメリットであったりが、合同ですることによって出てくるように思っております。

その分、共通する舞台にかかる費用であったり、そんなのが節約できるだろうというようなことが予測できる訳ですけども、単独と去年おととしの決算の結果を見れば、どれだけの節約ができたかなということが分かってと思います。



また、今PTAの方から意見が出ましたミュージカルの中で、まあ、ミュージカルといえばどっちかと言ったら、来てもらうための客寄せの部分、それから青少年の活躍を見てもらうというような部分で、表彰者の演技を見てもらうという部分で今まで設定してきたので、その辺が今年度、もしやっていく上では、すり合わせというか整合性が出てくるなという。まず、ミュージカルありきの青少年フォーラムになってしまうので、その辺がどういうふうに表彰者であったり、青少年の活躍の部分があればいいと思うんですけども、そういうふうなのが出てくればいいなという思いです。

昨年度の話では、やはりちょっと青少年が影が薄くなったなという、フォーラム自体は悪いという意味ではなくて、一時はおとなばかりで表彰やっております、青少年は全く関わってなくてというようなところからかなり発展してきていて、青少年が関わってきた。その関わる部分をもうちょっと、まず委員としてどういように関わってもらうか、その委員を選抜するのが非常に困難な、教育委員会がいろいろ苦労される場所ですので、その辺なんかも踏まえて、今年度もう一度見直しながら、より良いフォーラムに設定できたらというように考えています。

それと決算ね、ずっと委員させていただいて決算は無意識に、無意識にじゃないんですけども、ちょっと視野から外れてやっておったというような反省点があります。

会長 今日皆さん方に私がお願いをしたいのは、すべてではなくて、こういうふうな方向でやらしていただくことを決めさせていただいて、第2回の青少協は10月にも予定をしていますので、それまでにこの方向でやっていくということで進めさせていただいてよろしいでしょうか。

#### 委員了承

会長 そういうことで、今説明させていただいたとおりです。  
参加者の皆さんの意見を踏まえて進めさせていただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

会長 実行委員さんをお願いしたいということで、実行委員につきまして事務局より提案がありますか。

事務局より、市立中学校校長会代表 佐伯委員、県立高等学校校長会代表 岩木委員、青少年団体連絡協議会長 渋谷委員をフォーラム実行委員及び「青少年の表彰」選考委員に推薦。

<p>会長</p>	<p>岩木委員は本日欠席ですが、佐伯委員、洪野委員、了解いただけますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">両委員了承</p> <p style="text-align: center;">他の委員承認</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今の協議の中で、説明がありましたが、例年に比べまして日程的に早くなっております。文化会館が少し改修工事されるということで、22年1月30日になっておりますので、どうぞ皆さん方予定の方をよろしく願いいたします。</p> <p><b>協議事項(5)「青少年の健全な育成に全市を挙げて取り組む日」の制定(案)について</b></p> <p>事務局より別紙協議事項(5)について、別紙資料番号(3)にも触れながら説明、提案。</p>
<p>会長</p>	<p>今社会的にいろんなこと言われておりますが、やはり子どもたちが元気で、そして何よりも人と人との出会いといいますか、人と人とのきずながより必要な時代での提案というふうに思っておりますが、かなり細かいところまでの提案でございますけれども、初めての取り組みの中で、総論として皆さんからご意見をいただきたいのですが。</p>
<p>委員</p>	<p>コンクールの審査員の候補はあるのですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>まだ話を進めていないが、レフネックの生涯学習短期大学の学長の木津川先生を川柳コンテストの審査員長にどうかと考えている。わが家の料理コンテストについては、青山短期大学と提携をしているので、紹介いただける方とを考えている。という旨の説明。</p>
<p>委員</p>	<p>これは、昨年度から出ていた青少年の日を制定したらどうかという内容の提案だと思いますが、市を挙げてということですので、市民が協力していければ大変いいことだと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>川柳、わが家の料理のコンテストということで、楽しい企画になるかなというふうに思っておりますが、応募資格のところ、市内・市外を問いませんとありますが、この辺りをどういうふうに考えていったらいいかなと。</p>

	<p>一応、まあ、川西市としては、18歳以下の方たちを対象としましょうと、まあ概ねですけどね。だから、市内に在住・在勤・在校生みたいな形なら分かるんですけども、市内・市外を問わないというところでいくと、たくさんのお応募が来た時に、PTCA のフォーラムで表彰される時に、市外の方たちがどんどん入ってくる。この辺りのことはどういうふうに市としては考えていかれるのかなというのが一点です。</p> <p>もう一つは、これは意見なんですけれども、ここにありますように、18歳以下の子どもたちというところで、今まで青少年というくくりが、川西市でもこども部、とそれから教育委員会というところが、結構縦割りにきちんと分かれている部分が、やっぱり子どもというのはいわゆる縦割り行政ではなくて、しっかり横の中で見ていきたいと思いますというところで、これからどんどん地域や家庭を取り戻していくという取り組みになっていくというところでとても理解していますので、ぜひ、これから協議会委員の中身もそうですし、話の中に、例えば幼稚園だとか、保育所だとか、まだ小さい子を育てているお母さんやお父さんたちも入って、話ができるような会を、横との連携ももちろん大事ですけど、意見を聞いていただくようなところにしていただけたら、本当に青少年の非行ももっと早い段階で、影響しあえたり、地域で関わりが持てるかなと思いますので、このあたりは幅広く、委員も含めて、入れるような工夫や意見を取り込んでいくという工夫なんかもしていただけたらなど、これは要望で結構ですので、市内・市外の部分だけお願いします。</p>
事務局	<p>川西市を川柳・わが家の料理を通して全国的に発信していきたい。また、わが家の料理コンクールについては、中央公民館で二次審査・調理審査を行うので、遠くからの応募はないという予想ができるという旨の答弁。</p>
委員	<p>大変すばらしいと思います。家族も大事ですが、「夫婦」が大事。夫婦の問題も考えなければならぬ。子どもが間に入ってつらい思いをする。そこも警鐘を鳴らしていきたい。</p> <p>川西をもっと PR をしていきたい。川西市は東京に行けば、ほとんど認知されていない。市内外から募集するというのは大事だと思います。</p>
会長	<p>川西のことを知っていただくために、今、きんたくんというキャラクターもがんばっていますが、これも合わせて、川柳ということも出ていますが、川西らしさということも出していきたいと思っています。</p>
委員	<p>きんたくん、いろんなところで目にするが、耳に入ってくるものがない。庁内できんたくんの音楽を流すことができればいい。作詞者、作曲者はすでに亡くなっていて、著作権はないらしい。</p>

委員	ミュージカル「川西のきんたろう」でもオリジナルのきんたろうの楽曲があります。
会長	ふれあいの日を設けて、こういうふうなことを重ねて、さらに特徴をだしていきたいというような形の提案になっていると思いますので、このような取り組みを進めさせていただきたいと、そしてその主唱としてこの青少年問題協議会が中心になっていただきたいというような思いでの提案ですが、このような形で進めさせてもらってよろしいでしょうか。
<b>委員承認</b>	
会長	<p>ありがとうございます。初めての取り組みだということで、皆さん方のご協力をいただき、より市民に広げていきたいと思えます。、いろんなご意見をいただきながら、川西のまちを盛り上げていけたらと思えますので、どうぞ皆さんよろしくお願ひいたします。</p> <p>そして、今、川西のまちを盛り上げていくということで委員の方から意見もございましたので、それも合わせて、取り組める問題から取り組んでいきたいと思えます。</p>
<b>6. その他</b>	
会長	各団体からの活動報告について、ございましたら賜りたいと思えます。常日頃、いろんな青少年の問題について活動していただいていることについて情報の交換という場になればということで、いつも皆様方よりご意見を賜っている訳でございますが、いかがでしょう。
委員	青年会議所より報告。夏休み中に実施されたキャンプ“フレンドシップ2009”。父親と子どもを対象に淡路島で1泊2日のキャンプ。思い出と感謝と友情がテーマ。好評に終わった。
委員	防犯協会より報告。各地域において、防犯リーダーの講習会をしている。10月15日に防犯集会がみつなかホールで行われる予定。
委員	補導委員会より報告。大きな問題は起きていない。夏休み、各地区で夏祭りで補導委員が活動してきた。
委員	子ども会より報告。子どもだけを連れてキャンプ。リーダー隊の協力を得て。毎年同じことを言うようだが、青少年問題協議会の中で考えていかないといけないのは、親御さんにめぐまれない子どもたちに視野を向けることは

	<p>できないかということ。</p>
委員	<p>青少年団体連絡協議会より報告。ボーイスカウトの夏のキャンプ。青少年の自立をめざして、5泊6日で家島でキャンプ。</p> <p>明日、アステ周辺で募金。社会を明るくする運動。各学校にもポスターの掲示などしていただいて、幅広くPRできたと思う。来年度に向かって、どうのように運動を推進していったらいいか思案中。</p>
委員	<p>川西地区厚生保護女性会より報告。あいさつ運動を行っている。先生によっては無視されたり、車を降りてあいさつしてくれる方もいる。中学生というのは大事な時。先生の方もご協力いただけるとありがたい。</p>
委員	<p>川西市PTA連合会より報告。今年度のテーマは、「親をきちんとしよう。そうすれば子どもももっときちんとするはず」。そういう心を大切に活動していきたい。</p>
委員	<p>川西警察より報告。28日の神戸新聞にも載っているが、川西市の男女中学生が逮捕、送検されている。厳しすぎるのでは、という指摘もあるが、学校の先生からも認められている。一定の限度を超えた少年に対しては厳しくいきたい。取り締まりが青少年の厚生や健全育成につながっていると信じている。ご協力をお願いします。</p>
委員	<p>川西市青少年育成市民会議より報告。各地区で活動している。春の第1回の理事会で青少年ふれあいデーのことを話している。いいことだなと話合っている。地域で青少年との関わりをしているので、進め方については、お互いに議論しながらやっていきたい。</p>
委員	<p>川西市立中学校校長会より報告。指摘のあった一部職員の失礼な態度をお詫びします。教育長からも指導をいただいている。逮捕事案について、川西警察署の対応に感謝している。ここで逮捕されて、歯止めになっていると思われる。ここで逮捕されなければ、もっと大変なことになっていただろうというケースばかり。感謝している親もいる。それが少年のためだという確信を持っている。皆さんにはご心配かけて申し訳ない。</p>
	<p>事務局より事務連絡</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青少年の表彰の推薦状の発送に取りかかる。</li> <li>・ 2回目の青少年問題協議会は10月下旬。内容は、青少年ふれあいデーの内容についての検討、フォーラムの予算決算についての報告などを予</li> </ul>

定している。

**7. 閉会（15：30）**

会長あいさつ。

※ 資料については、市役所2階市政情報コーナーに設置しています。